

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
0421	こども本の森開設準備事業	坂の上の雲まちづくり部	坂の上の雲ミュージアム	2
0421	坂の上の雲ミュージアム企画展示事業	坂の上の雲まちづくり部	坂の上の雲ミュージアム	3
0421	坂の上の雲ミュージアム施設管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	坂の上の雲ミュージアム	4

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	坂の上の雲ミュージアム	担当G	坂の上の雲ミュージアム	連絡先	915-2601
------	-------------	-----	-------------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	こども本の森開設準備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
0421					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		○	○	
施策	愛着と誇りが高まる地域づくりの推進	根拠法令	松山市坂の上の雲ミュージアム条例 松山市坂の上の雲ミュージアム条例施行規則 松山市坂の上の雲ミュージアム事務規則		
主な取組	愛着と誇りが高まる地域の魅力づくり				
目的・背景	【目的】「こども本の森 松山」の坂の上の雲ミュージアムへの増築について、令和7年7月の開設を目指して準備を進める。 【背景】建築家・安藤忠雄氏より「未来を担うこどもたちに本に親しんでもらいたい」という思いから、「こども本の森」を坂の上の雲ミュージアムに増築・寄贈したいという提案があった。				
対象・内容	【対象】市民 【内容】市民に対して、カウントダウンイベントの開催や情報発信を行い、オープンに向けた機運の醸成を図る。 寄附者である安藤忠雄建築研究所等と協議を行いながら、図書や備品を購入し、オープンに向けた準備を進める。 「こども本の森」内部デザイン実施計画等を委託し、他市「こども本の森」との関連性がありつつ松山ならではの要素を盛り込んだ選書や内部デザイン等を行うことで、「こども本の森 松山」のイメージや利便性の向上を図る。 有識者による懇話会を実施し、利用環境(ソフト面)の整備やオープン後の課題解決を図る。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光資源開発費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	－		主な経費 (千円) 【R7 決算】	内部デザイン実施計画及び配架等業務委託料		4,950
予算 (千円)	事業費計	30,791	21,942	0			授乳室制作及び設置等業務委託料		2,145
	国費・県費								
	市債		2,200						
	その他	27,248							
	一般財源	3,543	19,742			サイン等制作及び設置業務委託料		1,518	
決算 (千円)	事業費計	23,533	14,042			主な取組 内容 【R7】	・図書の配架やサイン等の制作。 ・機運の醸成を図るための周知啓発やオープニングセレモニー等のイベントの実施。		
	国費・県費								
	市債		1,900						
	その他	21,857							
	一般財源	1,676	12,142						
	(執行率)	76%	64%						
人役	正規職員	1.0	1.0	0.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.0	1.0	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	－	－	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	メディアでの情報発信		目標	50	50			オープンに係る情報や関連イベント情報などSNSの投稿を実施したほか、広報まつやまやラジオ等でPRに努めた。	
			実績	142	389				
	単年で増	回	達成率	284.0%	778.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	「こども本の森 松山」の準備状況のほか、オープン後も利用方法や関連イベントの情報発信を行い、市内外の幅広い世代に関心を持っていただき、周知・啓発に努めた。							
課題	事業終了後もミュージアムとあわせて各種情報発信やイベント等の実施を行い、より多くの人に魅力発信を継続して行う必要がある。					今後の 方向性	事業終期到来	左記の 理由	令和7年7月に「こども本の森 松山」がオープンしたため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	坂の上の雲ミュージアム	担当G	坂の上の雲ミュージアム	連絡先	915-2601
------	-------------	-----	-------------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	坂の上の雲ミュージアム企画展示事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
0421					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		○	○	
施策	愛着と誇りが高まる地域づくりの推進	根拠法令	松山市坂の上の雲ミュージアム条例 松山市坂の上の雲ミュージアム条例施行規則 松山市坂の上の雲ミュージアム事務規則		
主な取組	愛着と誇りが高まる地域の魅力づくり				
目的・背景	【目的】市民に『坂の上の雲』のまち松山への愛着と誇りを感じてもらい、市外の方々に「行ってみたい」「住んでみたい」と思ってもらうことを目的としている。 【背景】開館前に開催した「坂の上の雲 記念館展示専門委員会」からの答申を最大限に尊重し、毎年テーマを新たにした企画展を開催している。				
対象・内容	【対象】市民、観光客 【内容】坂の上の雲ミュージアム企画展示の企画、調査、展示設計、展示制作を行う。(2月頃展示入れ替え) 企画展示に関連した記念講演会等を行う。 企画展示の図録を製作する。 音声ガイドに関する業務を行う。(内容更新、機器の賃借) そのほか大規模に行う展示にかかる業務を行う。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光資源開発費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	展示・映像制作及び設置等業務委託料		8,580
予算 (千円)	事業費計	28,377	29,813	30,703			展示基本設計業務委託料		4,070
	国費・県費						資料借用・返却輸送等業務委託料		3,314
	市債								
	その他	1,740	1,805	2,360					
	一般財源	26,637	28,008	28,343					
決算 (千円)	事業費計	23,989	25,307			主な取組 内容 【R7】	第19回企画展テーマ展示『『坂の上の雲』にみる明治のインテリジェンス』を開催。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	1,820	1,784						
	一般財源	22,169	23,523						
	(執行率)	85%	85%						
人役	正規職員	3.5	2.7	3.5		特記事項			
	その他	0.0	0.8	0.5					
	合計	3.5	3.5	4.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	メディア等へのPR(広告)		目標	850	850	850	900	SNSの投稿を通年実施したほか、広報まつやまやラジオ等で定期的なPRに努めた。	
			実績	1,052	1,037				
	現状維持	回	達成率	123.8%	122.0%				
成果指標	入館者数		目標	130,000	140,000	130,000	140,000	スペシャルドラマ「坂の上の雲」の再放送の影響や、令和7年7月に「こども本の森 松山」がオープンした等の影響もあり当館の注目度が高まり、企画展の観覧者が増加した。令和9年1月～3月に空調機器更新工事に伴う部分休館を予定しているため令和8年度の目標値を修正した。	
			実績	145,474	158,995				
	単年で増	人	達成率	111.9%	113.6%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	「こども本の森 松山」のオープンをはじめ、インバウンドの増加やスペシャルドラマ「坂の上の雲」の再放送の影響もあり、来館者数が増加した。また「こども本の森 松山」の影響で幅広い世代が来館するようになったほか、SNS等の積極的な活用が功を奏したと考えている。							
課題	今後も多くの来館者が訪れるよう、市民や観光客、研究者などさらに幅広い層へ周知・啓発を図る必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	今後も毎年新しい企画展を開催することにより、市内外の多くの人々に小説『坂の上の雲』のメッセージを伝えていく。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	坂の上の雲ミュージアム	担当G	坂の上の雲ミュージアム	連絡先	915-2601
------	-------------	-----	-------------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	坂の上の雲ミュージアム施設管理運営事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理
0421						
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる			○	－	
施策	愛着と誇りが高まる地域づくりの推進		根拠法令	松山市坂の上の雲ミュージアム条例		
主な取組	愛着と誇りが高まる地域の魅力づくり			松山市坂の上の雲ミュージアム条例施行規則 松山市坂の上の雲ミュージアム事務規則		
目的・背景	【目的】小説に描かれた主人公の足跡や明治という時代に関する「展示機能」をはじめ、小説ゆかりの史跡の魅力を紹介する「フィールドミュージアムガイダンス機能」、地域主体で行われる地域資源活用の取組などの「まちづくり支援機能」を持った複合施設として、訪れた人々が時の流れについて感じ、考える場を提供することを目的としている。 【背景】坂の上の雲ミュージアムは小説『坂の上の雲』の3人の主人公(正岡子規、秋山好古、秋山真之)が抱いた高い志とひたむきな努力、夢や希望をまちづくりに取り入れた『坂の上の雲』を軸とする21世紀のまちづくり構想の中核施設として誕生した。					
対象・内容	【対象】市民、観光客 【内容】資料調査、展示物の維持管理、充実、周知啓発、各種活性化事業を実施し、坂の上の雲ミュージアムの利用促進を図る。 坂の上の雲ミュージアムの維持管理に指定管理者制度を導入し、施設の安定稼働を図る。 市民に対して、各種講座(ミュージアム講座、大学連携市民講座)や定例イベント、子ども向けワークショップ等の開催・情報発信を行い、利用促進を図る。 観光客に対して、関係部門や県内外の博物館等との連携によるPR活動を行い、利用促進を図る。 外国人に対して、施設案内パンフレット等の多言語化を実施し、利用促進を図る。					

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光資源開発費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	指定管理料		130,699
予算 (千円)	事業費計	144,806	197,993	289,426			照明器具LED改修工事		29,689
	国費・県費						展示情報システム機器及びソフト ウェアの賃貸借料		2,178
	市債		39,600	119,200					
	その他	23,808	32,070	45,234					
	一般財源	120,998	126,323	124,992					
決算 (千円)	事業費計	139,358	187,246			主な 取組 内容 【R7】	・指定管理者制度による施設維持管理及び 運営。 ・資料調査、展示物の維持管理、充実、周知 啓発、各種活性化事業等の実施。		
	国費・県費								
	市債		26,700						
	その他	26,166	33,765						
	一般財源	113,192	126,781						
	(執行率)	96%	95%						
人役	正規職員	3.7	3.5	4.6		特記 事項			
	その他	1.0	1.2	0.5					
	合計	4.7	4.7	5.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	2階ホール等を活用したイベント・展示等の開催		目標	100	100	90	100	まちづくりの中核施設として、指定管理者や市民団体による各種イベントの定期的な実施に努めた。 令和9年1月～3月に空調機器更新工事に伴う部分休館を予定しているため令和8年度の目標値を修正した。	
			実績	103	112				
	単年で増	回	達成率	103%	112%				
成果指標	入館者数		目標	130,000	140,000	130,000	140,000	スペシャルドラマ「坂の上の雲」の再放送の影響や、令和7年7月に「こども本の森 松山」がオープンしたことにより当館の注目度が高まり、来館者が増加した。令和9年1月～3月に空調機器更新工事に伴う部分休館を予定しているため令和8年度の目標値を修正した。	
			実績	145,474	158,995				
	単年で増	人	達成率	111.9%	113.6%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	「こども本の森 松山」のオープンをはじめ、インバウンドの増加やスペシャルドラマ「坂の上の雲」の再放送の影響もあり、来館者数が増加した。また「こども本の森 松山」の影響で幅広い世代が来館するようになったほか、SNS等の積極的な活用が功を奏したと考えている。							
課題	今後も市内外の幅広い世代へ坂の上の雲ミュージアムの魅力発信を継続して行う必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	今後も坂の上の雲ミュージアムに親しんでもらえるイベント開催や来館者サービス水準の向上に努め、市内外の多くの人に小説『坂の上の雲』のメッセージを伝えていく。